



原爆先生の特別授業を受講して

表

各冊は裏面に記入してください

あの日、広島で起きた出来事。最初はなかなかイメージがわかなかった。何が起きたのかもよく知らなかった。

広島の日9日間。マリアナ諸島からエノラ・ゲイ、リトルボムに4発もの原子爆弾をつみ、約3000kmもある道のりを渡ってきた。①広島②小倉③長崎の優先順位で天候次第で原爆が落とされる予定だと知った。その時ほくは天候が良ければこのような悲しい出来事は起こらなかったのではないか、そう考えた。でもそんな簡単なことではなかったということが分かった。当時の醫療技術を使い、目的地にほとんど到達する間に原爆が落ちてきた。原爆は上空600mの場所で爆発した。直径200mもの球体となり、周りの温度も「7000℃」まで上昇した。そんな異常な温度の中、おつうはあひさし、人々が一しゆんにして消えた。体の水分が一しゆんにして蒸発するとどういったことなのか、ぼりイメージがわかなかった。特におどろいた事は、助けを求め、手をのびた被爆者の手を引こうとする。皮がむけてしまい、骨までもが見えてしまったという事だ。ほくはこの話を聞いて、一生広島を忘れないと思えば、絶対に忘れない。そして犠牲になる命を失って来た人たちのためにも、これからわたしのために絶対戦争してはいけないと改めて

改めて 特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

感じさせてくれた本堂は貴重な話を、わたしの忘れない。そしてこの話をこれからの子供たちに受けついでいかなければならないと思えた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今年の夏に、広島へ行き、原爆ドーム、広島平和記念資料館を見てきました。そこにあったのは、遺品や、当時の方を表現した人形などでした。

服はもちろん、三輪車やご飯も真黒にこげ、もうボロボロでした。被害。資料を読んだり、黒い雨や人影の石を見たりしました。

何よりおどろいたのは人間でした。全身火傷の方、皮膚がはがれていたり、本当におそろしかたです。

原爆先生の授業には、おどろきが多くたくさんありました。トラックに被爆者を乗せるとき、皮膚がはがれてしまったと聞き、とてもわくわく、想像するだけでふるえがとまりませんでした。

池田義三さんが、広島平和記念資料館で、「きれいすぎる」と言、たと聞き、おどろきました。私にとっては、すごくおそろいものなのに、当時、池田さんが実際に見たものは、もっとおそろいものだったと考えると、すごく悲しいです。原子爆弾一つで、こんな被害をもたらし、大勢の人々に重傷を負わせました。今でも、原爆病に苦しんでいる人がいると聞き、悲しい気持ちでいっぱいです。今はリトルボーイの千倍の威力の核兵器があるそうです。

日本は平和ですが、まだ戦争をしている国もあります。私は、過去の出来事、体験者の思いを無駄にせず平和な国を守り続けたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

今日原爆先生の特別授業に改めて原爆の悲惨さを知りました。特に、被爆者の
 証言としてつねに被害者だったことがわかりました。35万人いた広島市の
 人口の中で約40%にあたる14万人が亡くなったと聞いた時、心で
 おどろきを感じました。5人、2人、死傷が出るというのをとても恐ろし
 いことだと思いました。原爆を投下したアメリカ人は、原爆は
 正しいと言ったけれど、本当に正しいかは思えない状況だったこと
 が今日の授業でわかりました。僕が日本人だと思えば、人によって
 いろいろ感じ方が違うから正しいと思えば正しいと思うのは
 人の自由で、けれども広島県内に原爆が落とされた多くの人の命が
 失われたことは事実です。戦争の時に暴行を働いて人を殺して
 しまった罪状がある。他の国に核兵器を使うことは許さ
 れない事だと思えます。僕が今この原爆先生の特別授業に参
 加して学ぶことが、戦争の歴史を学ぶことだと思
 います。その時にしっかりと戦時について考えたいと思います。
 いまだに戦争が起きている国がある。そういう国は
 無くならない方が平和な世界になると思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

9/15

僕は原爆先生が言っていた「原子爆弾の威力に驚き、これを落とすことになった戦争は嫌なもので」と思いました。7000℃の熱線で焼きつくし、音速よりも速い440m/sの衝撃波で物に砕き、放射線で汚染されると聞いたときは驚きました。先生は原爆先生が言っていた、人間が熱線で溶けて炭化し、衝撃波で飛ばされるというのは想像もつきませんでした。さらに、よく聞かされた意味、当時の技術で原子爆弾を作ったのでよかったものの、今ではすべて爆発させられるから嫌な事だと思いました。化学は理科室でやるべきな実験だったらしいけれど、原爆を利用したので、危険している意味が良くないと思いました。

今年は戦後70周年です。このような貴重なお話をできる人も少なくなってきたので、だからこそうまく説明できなくて簡単にでもいいから次世代の人たちに説明できるお話をしたいと思いたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、原爆先生の授業を聞いて、
 兵隊さんは、すごいなと思いました。
 理由は、亡くなる直前の人じゃないような
 ひろのたれさが、た人を一人でも
 多く助けようとしていることに
 感動しました。また、防火用水の中
 に入ってしまった死体も、ほて
 はあかす。出して、燃やしているこ
 とにもびっくりしました。他にも、かこ
 くな毎日をすごしながらも、大変な
 は喜(死体を運ぶこと、苦しんでいる
 人を、一人でも多く、探すこと)をがんば
 り、最後まで、あきらめずに、やりとげ
 ることか、すごいなと思いました。
 私は、ひろがたれさが、ときいて、
 ソワ...として、こめく、なっ、たけど、
 どうなっているのかか、あとあとにわかりまし
 た。もう一つ、私は、平和とは、すごく
 よいことであり、せまんなのかか、たな、と思いました。



名前を裏面に記入してください

じゆこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

9/15

多くは無差別に人を傷付た多くの命を奪った原爆と、それを
使おうと決めた人がいる。そんな武器を人間が
使っている。被害者が増えることなく次の武器を
開発している。命を奪う人々が増える。被害者
が増える。今もまだ苦しんでいる被爆者の数は、どんなに
リトルボーン症うらんでもうらみ切れないことだろう。
多くは原爆の時の音を聞くのと同じやになるが、それは
大切な命、大切な命、それを助けた原爆は
物、この世に存在してはいいと思います。多くはたまた
大人にならば、絶対にこんな兵器を使わないこと
を誓う。絶対に戦争が起らないように。戦争を
よくしたいです。たまたま、原爆がヒロシマだけがサミでなく
たまたまの命を奪った。たまたま、たまたま。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

9/15

私は、広島で育ちました。私が今回の授業がすごく
 分かりました。そして、おどろいたことが2つあ
 ります。1つ目は、「リトルボーイ」という爆弾について
 です。その爆弾は、とても重く、おどろきということが
 分かりました。また、「リトルボーイ」が爆発した時
 の熱の温度が、とても高いことが分かりました。
 その中でも、爆発したときの表面が、太陽の表面
 の温度より1000℃高い7000℃という事実を知って
 おどろきました。2つ目は、トロの様子です。分か
 ったことは、外にいた人口は全て消え去ったとい
 うことです。授業の途中で、3分間の映像が映し
 出された時、私は、言葉を失いました。そこには、
 普通に生活していた人口が一瞬にして灰にな
 っていく姿がありました。爆発した時の強い光
 や熱さでこんなことになるのだと
 知り、あらためて戦争のおそろしさを実感し
 ました。そして、今でも多くの被爆者を
 苦しめているということが分かりました。
 戦争は、人々を消して行く、と云ふことの残酷さを



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

ぼくは原爆先生の言葉を聞いて、原爆
 の見方が変わりました。ぼくが聞いて一
 番びっくりしたことは二つあります。
 一つは人が光に77秒、一
 んで消えたということ。二つ
 はこれは他ではなかなかありませ
 ん。すかとおそろしいことでは
 ありません。太陽が77秒とい
 うことでも太陽が77秒とい
 想像できません。これは本当
 の地獄なんだと思います。
 これをうなずく時は二度おこ
 さないほうにしなければなら
 なくと思います。



名前を英函に記入してください

 原爆先生じゆこウの特別授業を受講して

表

9/15

原爆先生へ

今日は、貴重な原爆の話を開かせてくれて、ありがとうございました。

私は、「原爆」という言葉に関心がありましたが、史体験の話の聞くと、想像をはるかに越えるもので、おどろきました。原爆の被害については、耳にしたことがありましたが、人々の様子や風景などについては詳しく聞いたことがなかつたので人の肌の事とか道での出来事について聞くと、とても怖くて、ぞっとしました。先生が話の途中で「バンッ」（原子爆弾の音）と言った時に心臓がばくっとなって、びくりましたけれど、本当はもっと大きくて、怖いものなのだと思うと、全く想像が付かなくて、恐ろしい物だと思いました。

そして、私が先生の話の聞いて一番学んだことは、戦争はやってはいけないということです。

原爆後の被害について教えてもらったことで、より強く戦争をやってはいけないと思いました。今回のお話でいろいろな事を学ぶことが出来たので良かったです。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

9/15

私は、原爆先生のお話を聞いて、ある言葉が心に残りました。その言葉は、原爆ドームの資料館で先生のお父さんが言ったという「きれいすぎる」です。ただでさえ女性の顔がずるむけにな、ている人形なのに、それがきれいなんて私には信じられません。しかし、それは戦争体験者ではないかと思うことであり、「戦争」と一言で言うのはおかしいのでも思います。にくしみ合い、ただ政府のにくしみ合い。そのために亡くなった方がいると思うと、まだ十才の私でも胸が痛むほどです。

今日で終戦から70年。テレビで特攻隊の方が「自分だけ生きてしまいに申し訳ない」と言った。これは、私の日記、8月15日に書いたものです。

決してきれいではない人形が、きれいすぎる。生きていて、申し訳ない。そう思わせるような社会にはなりたいとほしいという思いが、よりい、そう強くなりました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、広島に原爆が投下された瞬間が想像していた以上に、悲しいものだと感じました。原爆先生の授業で、原爆が投下されたとき、現地の人々や建物の様子は、とてつもなく悲しいものだと知りました。体に大火傷を負い、皮がはたまたれ、触れただけではがれ落ちてしまう。痛みにもがき苦しむ、必死に助けを求め、人々を想像すると、心が痛くなりました。朝、また一日が始まったとき、たったひとつの爆弾が一瞬にして街を熱と放射線で包みこみ、衝撃波でうたとぼした。被爆した人々がうでをななめ前に出して、どんな気持ちで歩き、さまよっていたか。義三さんらは、目の前の人間ではないような姿になった人々の前を、どんな気持ちでトラックで通り過ぎたか。想像するだけでつらいです。そして、この悲劇の瞬間をアメリカ軍は威力の実験と共にやっていたことに腹が立ちました。さらに、世界では広島に投下された原爆の1000倍の威力の原爆を所有する国があることにも腹が立ちました。原爆なんてものは絶対に使ってはならないし、作ってはならないと強く感じました。世界から原爆が無くなり、二度とこんな地獄が訪

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

れないことを願います。貴重で本当に大切なお話をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

9/15

ぼくは 原爆先生の話を聞いて戦争は、
人をきずつけ動物建物までがひかいいにあ
て戦争は いけな物だと改めて思
ました。

ぼくが 一番心に残ったのは ひ爆者
さんたちが兵たいせんたすけて」と、い
ている所です。

罪の無きんが 死んでいってしまい。

兵たいせんに ひしに 死すけり」と言てきたす
かかまほんとうに悲しいことだと思いました。

またその人たちを、たすけられぬが、た兵たい
せんたちも 及かいか、悲しいたすけてあげたしな
どという気持ちで心か いはいだ
たと思いました。

ぼくは、この話を、通して昔は、あまり、
れがれぬ原爆という、悲しいお話を、
していただくにほんとうに勉強になりま
した。

これからは、日本だけいはいなく他の国も戦争のない

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> nost@hiroshima9.com

平和な社会としていれたいなと思いま
す。お話を聞いて、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

9/15

私は、もともと戦争や爆たんなどにとっても興味
味があってこれまでに、「はたしのゲン」など、い
ろいろな昔のことのビデオを見ているので、今日
の特別授業の意味がよく分かりました。
この話を聞いて、広島にある原爆ドームに
行ってさらに原爆のことを知りたかったです。あ
と長崎に旅行に行ったときに原爆につ
いての建て物があって中に行ったときにつ
きのビデオを見たまあくが、あってその内容に
今日見たビデオと似ていて、急に光って服や皮
がとんで、ひたひたするビデオを見て、ずっと
レビの画面を見ていたということがあって、
そのとき、たしか4年生だったからよくわか
りなかつたけど、今になって、4年生のときとさ
がう感じ方がして、戦争ももちろんだけ
どもう2度とこつこの戦いは絶対にし
たくないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前を裏面に記入してください

私が話を聞いて一番おどろいたのは、原爆^{しほこつ}爆弾の威力でした。

広島に落とされた原子爆弾^{しほこつ}は、ゴルフボール^{しほこつ}で使われたウランが1kg。それを知り、改めて原爆のおそろしさが分かりました。たった1kgの、ゴルフボール^{しほこつ}くらいの球で、一つの都市が一瞬で死んでしまうなんて、怖いとしか言いようがない現実を知りました。

また、トカまるで蒸発したように消えてしまったという言葉を聞いたとき、ぞろぞろとした、いさなり戻となり、形を失う、熱いと感じる間もなく命を落とした人たちの、どのような気持ちで思えばいいのか、私には分かりませんでした。

今回、原爆の怖さが分かり、原爆はもう二度と使ってはいけないと思いました。原爆^{しほこつ}がない、戦争がない日本に生まれることができて、良かったと感じました。